



鳴門市

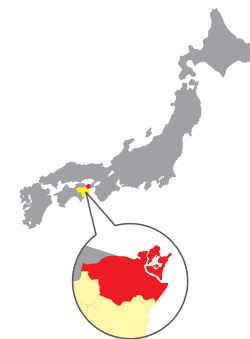
鳴門市で
暮らし
はじまる



鳴門市って どんなところ？

人口 59,101人
面積 135.66 km²

(人口は総務省「平成27年国勢調査」)



温暖で過ごしやすい

鳴門市は温暖な瀬戸内気候に属しています。県内でも降雨量は少なく、一年を通して過ごしやすいのが特徴です。周辺は海に囲まれ、豊かな特産品や観光資源に恵まれています。

都市圏へのアクセスが良い

四国の東玄関口とも呼ばれ、大鳴門橋や明石海峡大橋を利用し、最短一時間ほどで関西方面へ行くことが可能です。関西方面をつなぐ高速バスは、一時間に複数便あり移動に便利です(夜間早朝を除く)。隣町には「徳島阿波おどり空港」があり、東京や福岡へ約一時間半で行くことができます。

「思いやり」が 受け継がれる町

四国八十八ヶ所霊場の起点となる鳴門市では、古くからお遍路さんに食べ物や飲み物を無償でふるまう「お接待文化」が根付いています。第一次世界大戦時には、俘虜(かくとく)となって日本に移送されたドイツ兵士たちを、住民は親しみを込めて「ドイツさん」と呼び交流を深めるなど、誰に対しても分け隔てなく接していました。そんな、ちよっぴり素朴で、思いやりの精神が受け継がれた、人情味あふれる人が多い町です。



お遍路さんへ配る手作りの小さな巾着



第一次世界大戦時のドイツ兵と地元住民



鳴門市 エリア別 生活マップ

鳴門市は、大きく「海エリア」「市街地エリア」「山エリア」の3つに分けられます。どのエリアにも魅力や個性があり、ライフスタイルに合った場所を選ぶことができます。

海エリア



鳴門町
瀬戸町・北灘町
(P6-7, P12)

山エリア



大麻町・大津町
(P10-11, P14)

市街地エリア



撫養町・里浦町
(P8-9, P13)



鳴門市地域バス路線図
(平成30年10月現在)

- 市内循環線
- 里浦栗津運動公園線
- 高島線
- 📍 渡船乗り場
- JR鳴門線・高德線
- 📍 路線バス (バスストップ)

わたしたちの
一押しスポット

海エリアに住む

井坂 忠義さん(77)
京子さん(70)

定年退職後、分譲マンションを購入し滋賀県から夫婦で移住。移住年数は約14年。

1ヶ月の主な支出 (1年間を通しての概算)

- 水道・光熱費 11,000円
- 自動車・交通費 50,000円
- 食費(酒代含む) 120,000円
- 通信費 4,000円



移住者
Interview
case1

定年後に選んだ
趣味を満喫できる場所。



趣味を満喫できる場所

会社員だった頃、滋賀県に家と家族を残し、東京を拠点に様々な場所へ転勤・単身赴任を繰り返していました。定年後は妻と半島の静かな町で余生を過ごしたいと、房総半島、伊豆半島、知多半島など、半島のことを調べたり、実際に現地へ行ったりしながら終の棲家を探していました。

14年前、最終的に移住先を鳴門市の海沿いにあるリゾートマンションに選んだわけですが、これは妻との共通の趣味であるテニスが無料でできる環境が物件の近くにあった、ということが決め手でした。週に何度かテニスを楽しんだ後に飲むビールは最高ですね(笑)。あと、鳴門を選んだもうひとつの理由は、私の趣味である「釣り」です。年80回以上は友人と共同所有している船で目の前の鳴門海峡へ釣りに出かけていますが、釣りたての魚をあてに飲むビール、これもまた最高なんです(笑)。

歳を重ねることに広がる世界

同じマンションには囲碁が好きな住人も多いため、最近では毎夕碁盤を囲んでいます。マンションの管理組合の役員もやらせてもらっているのですが、この歳

になっても色々勉強させられることがありますね。

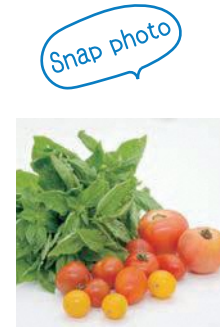
4年ほど前からは知人に紹介してもらった貸し農園で自家菜園にも挑戦しています。トマト・ナス・かぼちゃなど15種類ほど栽培しています。「土いじり」は以前からやりたかったことでしたが、なかなか機会がなかったのが嬉しいですね。収穫した野菜は、県外の子どもたちにも送っています。

田舎こそ住む場所

毎年、息子と娘の家族が孫を連れて県外から遊びに来てくれるのですが、多いときには12人が集まるんですよ。子どもたちは来るたびに「ここは田舎だね」と言いますが、案外田舎生活を満喫している様子です。息子なんて「死んでもこのマンションは残しておいてくれよ。たまに遊びに行くから」なんて言って帰るぐらいですから。私から言わせてみれば都会こそ「たまに遊びに行く場所」です。もう一度住もうとは思いませんが、それでも毎年数回は都会が恋しくなり足を運んでいます。その点においても、鳴門市は都会にもアクセスしやすい立地にありますので、「住む場所」としては何ら不自由はしていませんね。



夫婦で2時間ほどテニスを楽しむ



自家菜園で収穫したトマトやバジル。趣味の釣りでは大きな鯛を釣り上げることも

僕のポルテージが
上がる場所!

市街地エリアに住む

赤谷 亮一さん(36)

2018年に兵庫県から単身で移住し、鳴門市内でサイクルショップを経営。後に妻や長男も鳴門に移住予定。移住年数は約1年。

1ヶ月の主な支出

(一人分の概算)

- 水道・光熱費 20,000円 ●自動車・交通費 3,000円
- 食費・生活費 30,000円 ●通信費 10,000円

※ポカスタ=ポカリスエットスタジアムの略



移住者 Interview case2

ちよつとした不便さが
僕を「経営者」にしてくれた。



移住の決め手は「人の良さ」

祖父が徳島市内に住んでいるということもあり、なんとなく移住先の候補地として「徳島」が頭に浮かんでいました。移住支援などを活用し、徳島県内を中心に下見を繰り返していたところ、鳴門市の担当職員さんがとても親切で、「こんな人が暮らしている所なら住んでみたいなあ」と俄然鳴門市に興味が湧いてきたんです。

結果、今まで知らなかった「鳴門市」を移住先として選んだわけですから、僕は完全に「人の良さ」で選んだ、ということになりますね。移住してからも色々な人との交流がありますが、今でもこの点は間違いないかと感じています。

サラリーマンから経営者に

鳴門市へ移住し、その4ヶ月後にはメンテナンスをメインにしたサイクルショップを開業しました。

実は、兵庫県と広島県で十年ほどチェーン展開しているサイクルショップなどでサラリーマンを経験していたので、移住後は心機一転、違う職業に就職しようと考えていました。こちらに来て職安に足繁く通うなか、「鳴門には気軽に自転

Snap photo



休日は家族でサッカー観戦をしたり、汽車に乗ってお出かけ



大切にしているのは、地元の人とのコミュニケーション

快適な居場所にしたくて

小さな店をオープンして以来、お客さんから地元野菜のおすそ分けがあったり、ホームタウンのプロサッカーチーム(徳島ヴォルティス)の話題で盛り上がったりと、日常の何気ないひとときに鳴門の良さを感じたりしています。

鳴門市もほかの地方と同様に車社会ですが、山部などの僻地ではまだまだ自転車の使用率も高く、困りごとに悩んでいる高齢者も多いと聞きます。そういう人たちのためにも、今後は出張や修理などのサービスをしたいと考えています。ここをもっと住みやすい町に、と考えていたら色んなアイデアが出てくるんです。これはもうすっかり「鳴門人」ですね(笑)。

遊ぶ場所は都会と全然違う。
理想の子育てができてきている感覚。



自然がいっぱいで、虫もへっちゃら



Snap photo



地元の秋祭、「獅木獅子舞」を楽しんだり、車を走らせて海で釣りを楽しむ様子

山エリアに住む

中西 真夕さん(40)

2011年に横浜市から夫婦で移住。その後、長男を授かり現在は3人暮らし。専業主婦の傍らレンコン農家でアルバイトをしている。移住年数は約7年。

1ヶ月の主な支出
(1年間を通しての概算)

- 水道・光熱費 17,000円
- 自動車・交通費 10,000円
- 食費・生活費 40,000円
- 通信費 7,000円

いつも子どもと
出かける場所



震災が決めた新しい居住地

東日本大震災を機に、夫と共に神奈川県横浜市から鳴門市に移住してきました。私自身、夫の故郷である徳島での田舎生活に震災以前から興味があったのですが、夫は都会の生活が入っている様子でなかなか首を縦に振ってはくれませんでした。しかし震災直後の3月、原発事故の影響や安全面を夫と話し合った結果、徳島への移住を決心し、6月に鳴門へ引っ越して来ました。ですのでこちらに来てもう7年が経ちますね。あっという間だった気がします。

子育てに最適な町

その間に息子を授かりましたが、これまでもし都会での子育てだったらちょっと無理だったかもなあ、と思います。出産の時からして、神奈川や東京では産院を探すのにも一苦労するんです。都会では妊娠発覚後、すぐに産院を決めないと産むこともままならない…なんてことも。それに比べるとこちらは出産スケジュールにはかなり余裕がある感じですね。

出産後は支援センター（鳴門市子育て世代包括支援センター）をよく利用させ

野菜や魚をめっちゃくれる

移住は不安から逃げたはずの選択でしたが、やはり仕事面での不安はありません。夫が格闘家だったこともあり、ちょうど年齢的にもこの先どうするか…と進退を決めなければいけない時期だったんです。それじゃあと、移住を機に「宅建士」の資格を取得してもらい、今はこちらで不動産業を営んでいます。私自身も専業主婦（時々アルバイト）で生活を切り盛りしていますが、鳴門の人は野菜や魚をめっちゃくれる印象（笑）。優しい人たちに囲まれながら田舎生活をエンジョイしています。



市街地エリアの風景

- 保育園（認定こども園含む） 9園
- 幼稚園（私立幼稚園含む） 6園
- 小学校 5校
- 中学校 2校
- 県立高等学校あり 1校

（平成30年10月現在）



スポーツ施設

ポカリスエットスタジアムを中心に、球技場、体育館、武道館などスポーツ施設が集積。
JR鳴門線「鳴門」駅から徒歩で約25分。



商店街前交差点

撫養町

鳴門市役所や総合病院、文化施設、商店街、スポーツ施設などが集まった鳴門市の中心的な商業地。毎年8月9日から11日の3日間、鳴門市阿波おどりが県内の先陣を切って開催されています。



トリーデなると

鳴門市の防災拠点で、災害時用の食料なども備蓄。また、申請で市民ギャラリーや会議室を自由に使用できます。



主な特産物

なると金時「里むすめ」
里むすめ大根

里浦町

里浦町の多くは農業地帯。水はけの良い砂地畑で栽培される、なると金時「里むすめ」と「里むすめ大根」は、全国から高い評価を得ています。



なると金時畑



海エリアの風景

- 保育園（認定こども園含む） 2園
- 幼稚園（一部スクールバスあり） 2園
- 小学校（一部スクールバスあり） 3校
- 中学校（一部スクールバスあり） 2校
- 国立大学あり（鳴門教育大学）

（平成30年10月現在）



千鳥ヶ浜

鳴門ウチノ海総合公園

県内最大級の芝生広場やアスレチック、無料でバーベキューができる場所なども併設。



鳴門町

鳴門海峡やウチノ海、小鳴門海峡など四方を海に囲まれた鳴門町。観光地やリゾートホテルが立ち並ぶ他、シーカヤック、サーフィンなど海のレジャーを楽しむ人で賑わいます。閑静な新興住宅地もあります。

渡船

車移動がメインの海エリア。鳴門市街地までは車で約15分。徒歩や自転車の場合はバスや渡船を利用します。
（乗船は無料）



主な特産物

鳴門鯛、鳴門わかめ
鳴門らっきょ

北灘町

瀬戸町

北灘町は瀬戸内海に、瀬戸町はウチノ海や小鳴門海峡に面しており、古くから漁業の町で知られています。きたなだ海の駅や新鮮な海産物が美味しいお店が並びます。



北灘町 大浦漁港

白熱のプロスポーツ!



鳴門市をホームタウンとするサッカーチーム「徳島ヴォルティス」やプロ野球独立リーグ・四国アイランドリーグplus「徳島インディゴソックス」のプロスポーツを身近に楽しむことができます。

電車が走っていない!

徳島県は47都道府県で唯一、電車が走っていません。鉄道列車はディーゼル車の“気動車”が運行されており、地元では鉄道のことを“汽車”と呼びます。車社会の鳴門市でも大活躍しています。



釣りを楽しもう!



瀬戸内海から紀伊水道まで様々な海流に囲まれた鳴門市には、絶好の釣りスポットがたくさん! 駐車場とトイレが整備されている場所もあります。



『駅前足湯ふろいで〜』がオープン!

2018年、JR鳴門駅前ロータリーに足湯がオープンしました。心地良い足湯入浴を楽しむことができ、地元住民や観光客の華やかな憩いの場となっています。

つまみネタ



赤飯に“ごま砂糖”!

かつて塩田地帯だった鳴門は、塩に恵まれ、砂糖は貴重な品。お祝い事の赤飯には、貴重な“ごま砂糖”を使って食べたことがはじまりだとか。鳴門市内には老舗和菓子店も多く存在します。



季節限定の直売所!

たまご自動販売機や野菜の無人直売所を見かけます。収穫時期になると梨の路面販売や直売所が続々とオープンし、市価より安く購入でき人気があります。



快適な教育環境!

鳴門市内の公立幼稚園、小・中学校では、地場産品をふんだんに使った給食が提供されます。小・中学校では、全普通教室に「空調設備」が整備されています。



山エリアの風景



大津町吉永 交差点

大津町

国道が整備されスーパーやドラッグストアなどが並び、県外や市外へのアクセスが良い地域です。中心街を離れると広大な農業地域で、梨やれんこん、なると金時の生産が盛んです。

- 保育園 (認定こども園含む) 7園
- 幼稚園 (一部スクールバスあり) 5園
- 小学校 (一部スクールバスあり) 5校
- 中学校 1校
- 県立高等学校あり 1校

(平成30年10月現在)



主な特産物
れんこん、梨
なると金時

大谷焼

伝統工芸品に指定された徳島を代表する陶器で素朴な風合いが人気です。「大谷焼窯まつり」では、県内外から多くの人が訪れています。



大麻町

生活地域のうち農業地帯が大部分を占め、国の特別天然記念物であるコウノトリが住み着くほど自然豊かな町。歴史や伝統文化の情緒あふれる街並みは、どこか懐かしさを感じる雰囲気です。



ばんどう門前通り

霊山寺

四国八十八箇所霊場の第一番札所です。いつもお遍路さんで賑わっています。地元の人からは「一番さん」と親しまれています。



アクセス



自動車をご利用の場合

神戸淡路鳴門自動車道

●大阪梅田から 約2時間



●神戸市内から 約1時間30分



高松自動車道

●高松市内から 約50分



空港をご利用の場合

●東京から 約1時間15分

羽田空港—徳島阿波おどり空港

●福岡から 約1時間

福岡空港—徳島阿波おどり空港

高速バスをご利用の場合

例 大阪梅田—神戸三宮・舞子-高速鳴門
各地高速バス発着所あり

お問い合わせ

鳴門市移住交流支援センター（経済建設部 商工政策課内）

Tel 088-684-1158

徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170
shokoseisaku@city.naruto.i-tokushima.jp
<https://www.narutoakiyabank.org/>

移住支援や暮らしの情報を
知りたい方はコチラ



鳴門市空き家バンク

検索